

コード体系の採用

1 50音コード表

「菓子メーカーくん」では、一般的に担当者コード、摘要コードを除いて、コードの先頭2桁に50音コードを採用しています。こうすることで、50音順にコードは並びます。また、後から入力したコードも、50音順に並びます。検索はカナ検索を使用しています。

■ 50音コード表

ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
01	06	11	16	21	26	31	36	41	46
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ		リ	
02	07	12	17	22	27	32		42	
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	
03	08	13	18	23	28	33	38	43	
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ		レ	
04	09	14	19	24	29	34		44	
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ン
05	10	15	20	25	30	35	40	45	50

2 得意先コード体系

右側にサンプルとして得意先コード体系を表示しています。ご覧の通り、1・2桁目は50音コードを割り当てます。3・4桁目は同じ50音内の順番を任意に指定します。最後に、5・6桁目で本社、支店・営業所を割り当てます。こうすることで、50音コードとその下の割当てで、思い通りに整然とコードは並びます。このことで、コードを探す時間がスピードアップされ、作業時間の短縮に繋がります。

■ 得意先コード体系

9 9 9 9 9 9



1 50音コード (1、2桁目)

01 ~ 50 50音コード表参照

2 同じ50音コード内での任意の順番 (3、4桁目)

01 ~ 99 任意の順番

3 本社、支店および営業所 (5、6桁目)

00 本社
01 ~ 99 支店、営業所

▶ 例) (株)高山 東京支店

1) 50音コード 50音コード表の「た」だから ▶ 16
2) 任意の順番 「た」の2件目の得意先だから ▶ 02
3) 本社・支店 (株)高山の1件目の支店だから ▶ 01
■ 得意先コード ▶ 160201